

アライメント不良が大きく治療成績に影響を与えていた。良好なアライメントとスタビリティを獲得すれば関節面の不整は許容されるとの報告もあり、治療に際し前額面・矢状面における良好なアライメントの獲得がより重要であると考えられた。

## P2-42.

### 腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板切除術の治療成績

(霞ヶ浦・整形外科)

○木村 大、西村 浩輔、河野 亮平  
馬嶋 正和、渡辺 淳、市丸 勝二

(整形外科学)

遠藤 健司、山本 謙吾

【目的】 腰椎椎間板ヘルニアに対する術式として Love 法はこれまで標準的術式として安定した成績が報告されてきた。近年、低侵襲手術として内視鏡下椎間板切除術 (MED 法) は急速に普及してきており、当科でも本法を導入し手術を行っている。今回我々は従来の Love 法と MED 法の治療成績を比較検討した。

【対象および方法】 対象は 2005 年以降当科で手術を行った腰椎椎間板ヘルニア 30 例 (男性 19 例、女性 11 例) で Love 法 15 例 (以下 L 群: 平均年齢 37.2 歳)、MED 法 15 例 (以下 M 群: 平均年齢 35.1 歳) である。これらの症例に対し手術合併症、手術時間、術中出血量、術前術後の日本整形外科学会腰痛疾患治療判定基準 (以下 JOA score) 術後 24 時間時の白血球、CRP 値、術後歩行開始時期、術後入院期間について調査した。

【結果】 両群とも術中硬膜損傷等の合併を認めた例はなかった。手術時間は L 群  $85.2 \pm 94.1$  分、M 群  $107.8 \pm 31.7$  分と有意差は認めないものの M 群に時間を要す傾向があった。出血量は L 群  $86.4 \pm 94.1$  g、M 群  $42.5 \pm 63.6$  g、白血球値は L 群  $13,000 \pm 2,701.8$ /ml、M 群  $7487.5 \pm 586.6$ /ml、CRP 値は L 群  $4.29 \pm 2.89$  mg/dl、M 群  $1.14 \pm 0.90$  mg/dl と M 群が有意に低値を示した。JOA score は L 群術前  $12.2 \pm 3.8$  点、術後  $26.4 \pm 1.6$  点、M 群術前  $11.5 \pm 4.6$  点、術後  $26.6 \pm 1.8$  点と有意差は認めなかった。術後歩行開始時期は L 群  $5.25 \pm 1.72$  日、M 群  $1.12 \pm 0.35$  日、術後入院期間は L 群  $14.0 \pm 2.8$  日、M 群  $5.6 \pm 2.0$  日と M 群において早期歩行、早期退

院が可能であった。

【考察】 MED 法の臨床成績は従来の Love 法と同等の臨床成績が得られていた。手術時間は MED 法に時間を要す傾向を認めた。特に MED 法導入初期に時間を要しており、技術の習熟が必要と考えられた。出血量、術後白血球、CRP 値は MED 群で有意に低く、軟部組織への侵襲は低く早期歩行が可能となり、入院期間の短縮が可能となったと考えられた。

## P2-43.

### ラタノプロストへのドルゾラミドあるいはカルテオロール追加投与による眼圧下降効果の検討—無作為交差試験—

(眼科学)

○丸山 勝彦、白土 城照、後藤 浩

目的: ラタノプロスト点眼へのドルゾラミド、あるいはカルテオロール点眼追加による眼圧下降効果を、両追加薬剤の無作為交差試験により検討する。

対象および方法: 対象はレーザー治療を含む内眼手術歴のない広義の原発開放隅角緑内障 (広義) 64 例で、それぞれ 32 例をドルゾラミド追加先行群とカルテオロール追加先行群に無作為に割り付けた。ラタノプロスト単独投与後 1 ヶ月毎に 3 回眼圧を測定した後、1% ドルゾラミドあるいは 2% カルテオロール点眼を追加投与し 1 ヶ月毎に 3 回眼圧測定を行い、その後ラタノプロストは継続したまま追加投与薬をそれぞれ変更して 1 ヶ月毎に 3 回眼圧測定を行った。

結果: ドルゾラミド追加先行群は 31 例、カルテオロール追加先行群は 30 例が試験を完了した。両群の年齢、性別、ラタノプロスト投与前の無治療時眼圧 (ドルゾラミド追加先行群  $19.0 \pm 2.1$  mmHg、カルテオロール追加先行群  $19.1 \pm 1.9$  mmHg、平均±標準偏差) に差はなかった。ラタノプロスト単独投与期間中の平均眼圧はそれぞれ  $16.0 \pm 2.1$  mmHg、 $16.2 \pm 1.2$  mmHg で、両群共にラタノプロスト投与前と比較し有意な眼圧下降を認めたが、両群間の差はなかった。追加投与後の平均眼圧はドルゾラミド追加期間中  $15.2 \pm 2.0$  mmHg、カルテオロール追加期間中  $14.9 \pm 2.2$  mmHg で、両薬剤追加によりラタノプロスト単独投与期よりもさらなる眼圧下降を認めたが、両薬剤追加期間中の眼圧に有意差はなかった。

結論: ドルゾラミドとカルテオロールは両薬剤共